

■シモン・ボッカネグラ～物語～

舞台は14世紀ジェノヴァ共和国、貴族派と平民派との間で激しい政権争いが続いていた。平民派のパオロとピエトロはジェノヴァ総督の座に人望のあるシモンを推そうと相談している。シモンには政治的野心はなかったが、貴族派の大物フィエスコの娘マリアと恋仲であり、二人の間には娘がいた。総督になれば正式に結婚を認めると考えたシモンはパオロの申し出を受けることにした。しかしマリアは病魔に斃れ、娘も行方が知れないのだった。

第一幕

25年後。シモンの娘アメリアは孤児としてフィエスコに引取られ、大切に育てられていた。アメリアにはガブリエレという貴族の恋人がいるが、総督になったシモンは貴族派と平民派の和解の為にパオロとアメリアを結婚させようとフィエスコの屋敷を訪れる。しかしアメリアの身の上話を聞くうちに、彼女が行方知れずの自分の娘であると気づき、パオロとの結婚を破談にする。野心家であったパオロはそのことに怒り、貴族派と平民派のさらなる軋轢を画策し、アメリア誘拐を決意するのだった。

ジェノヴァ共和国議会、議会議場。ガブリエレら貴族派がアメリア誘拐の件で総督を糾弾する。助け出されたアメリアは誘拐犯は他にいとシモンを庇う。シモンは身内に裏切り者がいると言い、パオロにその者を呪えと命じる。青ざめるパオロ。

第二幕

パオロは牢にいるガブリエレに近づき、シモンがアメリアを我が物とし弄んでいると告げ、シモンを暗殺させる為にガブリエレを釈放する。同じく牢に入れられたフィエスコは協力を拒む。さらにパオロは総督の水差しに毒を注ぐ。ガブリエレがシモンに忍び寄り剣を抜くとアメリアが現れ止める。毒が回り始め朦朧としたシモンは二人にアメリアは実の娘であると告白する。

第三幕

一連の企みが露見し捕らえられるパオロ、シモンに毒を盛ったことを釈放されたフィエスコに告げる。衰弱したシモンの前にフィエスコが現れると、シモンはアメリアは自分とマリアの子でありフィエスコの孫娘であることを明かす。シモンはガブリエレに後のことを託し息を引き取る。

■音楽スタッフ

副指揮：福田夏絵／服部容子

ピアニスト：岩崎能子／松井理恵／竹之内純子

岩淵 静／河野真有美

ヴォイストレーナー：堀内共子

■舞台スタッフ

美術：淡路公美子

照明：(有)日高舞台照明

小道具：(株)高津映画装飾

大道具：(有)ニケステージワークス

衣装：アトリエ五十嵐

ヘアメイク：(有)アトリエプラナフォンテ

字幕：升水弘之

舞台監督：八木清市

宣伝美術：バク

制作協力：宮本風香／悠久堂企画室

制作：園江詩子

【27日 出演者】



シモン・ボッカネグラ
伊藤和広



アメリア
藪田瑞穂



フィエスコ
ジュリアン・ロー



指揮 時任康文



ガブリエレ
安藤英市



パオロ・アルビーニ
白石陽大



ピエトロ
上野目泰之



演出 園江 治

【28日 出演者】



シモン・ボッカネグラ
今井俊輔



アメリア
遠藤紗千



フィエスコ
高橋啓三



カピアティーニ
熱田鷹丸



ガブリエレ
加藤康之



パオロ・アルビーニ
金子亮平



ピエトロ
石井一也



侍女
田代香澄

【両日出演】

新宿文化センター
東京都新宿区新宿6-14-1
Tel.03-3350-1141
JR新宿駅東口より徒歩14分
東新宿駅A1出口より徒歩5分
新宿三丁目駅E1出口より徒歩5分



第22回新宿区民オペラ

G.ヴェルディ作曲「シモン・ボッカネグラ」

3幕原語上演字幕付

指揮：時任康文

演出：園江 治

Verdi Simon Boccanegra

27日出演者

伊藤和広

藪田瑞穂

ジュリアン・ロー

安藤英市

白石陽大

上野目泰之

28日出演者

今井俊輔

遠藤紗千

高橋啓三

加藤康之

金子亮平

石井一也

両日出演

熱田鷹丸

田代香澄

合唱：新宿オペラ合唱団

演奏：新宿オペラ管弦楽団

主催：新宿区民オペラ

後援：新宿新聞社

新宿文化センター・大ホール

2016年8月27日(土) 開場17:30 開演18:00

28日(日) 開場13:30 開演14:00

¥5,000

■チケットぴあ:0570-02-9999 Pコード291-807 受け取りは最寄りのサークルKサンクス/セブンイレブン

■新宿文化センターチケット売り場:03-3350-1141 ■新宿区民オペラ事務局:03-3952-7894